

油分濃度計「OCMA」

(株式会社堀場アドバンスドテクノ) 立所 咲樹

キーワード: NDIR、溶媒、環境分析

油分濃度計 OCMA

● 特徴

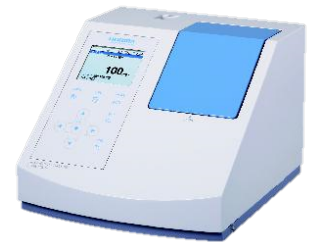
- ① **非分散赤外吸収分析法 (NDIR)** での測定
- ② 時代の変化に合わせて、**抽出溶媒**を開発！
- ③ お客様の要望を受け、**カスタマイズ**！

NDIRを使用することで…

- ・操作が簡単で扱いやすい
- ・測定時間が短い(約3分)
- ・揮発物質の検出が可能



OCMA505-H

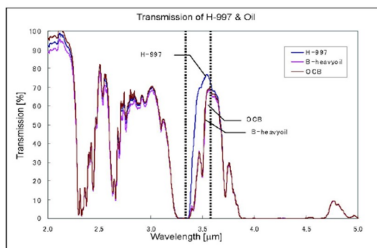


OCMA555-H

● 測定原理

サンプルの油分を溶媒(H-997)に抽出し、赤外線分析計でその油分量を測定(3.4~3.5 μ m 付近の赤外線吸収量を測定

➡ 油分量へと変換)



● 仕様

	OCMA 505-H	OCMA 555-H
測定方式	溶媒抽出- 非分散赤外吸収分析法 (NDIR)	
測定対象	試料水から油分抽出溶媒に抽出された 波長 3.4~3.5 μ m 付近に赤外線吸収を示す物質	
測定レンジ	0~200mg/L	
抽出溶媒	H-519	

◀ 溶媒と油分の赤外線吸収スペクトル

測定事例

約3分の簡単・スピード測定が可能！

- ・**環境計測** (環境基準に基づいた環境水質調査、工場・石油精製場などの最終放流監視、土壌汚染の調査など。幅広い環境分析に使用されています)
- ・**金属** (切削による金属部品に付着した油分残渣の管理)
- ・**その他** (電子部品、医療器具、洗浄機、冷蔵庫の配管、空調機、気体、ドライヤー etc.)

メッセージ

・「こんなサンプルは測定できるの?」「製品のことを知りたい」など現場測定、環境分析などに関する技術相談を受け付けております。ご興味のある方はご連絡下さい!
(その他質問がある方もお気軽に質問して下さい!)